

寄宿舎便り

令和3年7月20日発行
第6号
文責 松野

夏休みの生活について

新学期がスタートして3か月ほど経ちました。新しい生活がスタートして、慣れないことも多く大変だったと思います。まだまだ新型コロナウイルスの猛威もおさまることなく、今年も自粛の生活が続く夏休みとなってしまいました。



しかしながら、今年は東京オリンピック、パラリンピックが開催されます。緊急事態宣言下でのオリンピック、パラリンピックになってしまいとても残念ですが、今年の夏休み中にできることはなにかを考えながら、少しでも有意義に過ごしていきたいものです。暑さによる疲れをしっかりとりながら感染症対策をして、以下の3点について気を付けて、健康的にお過ごしください。

①健康で規則正しい生活を送りましょう。

生活リズムの乱れから体調を崩してしまうことが多い夏休みですが「3密を避けること」「手洗い・うがい・消毒」「換気」「人混みではマスクをする」などのコロナ対策に加え、熱中症にも注意してください。暑さで体力の消耗が激しい季節でもありますので、しっかり休養し、3食きちんと食べ、栄養をしっかり摂るようにしましょう。また、汗をたくさんかきますので、水分補給もこまめに行いましょう。ただし、冷たいものの飲みすぎは、食欲不振を招くので控えましょう。

また、生活習慣や体調を見直す良い機会にもなります。歯、目、耳などの治療や健康診断で指示された検査などすませましょう。

②計画的に過ごしましょう。

通常の夏休みであれば「やりたい事や普段できない事を、計画的に行いましょう。」と、いつもできない事に挑戦してほしいところですが、今回は難しいように思います。ただ、その中でも、できる事や楽しみを見つけ、普段できない家の手伝いや勉強などに取り組みましょう。

③防災や防犯、事故防止の意識をしっかり持った生活をしましょう。

昨年度は、7月豪雨による甚大な被害を受けました。今年も、思いもしない災害や事故が起こっています。今後もいつどこで起こるかわからず、油断はできませんが、普段の訓練を思い起こし、ラジオやテレビ、ネットなどの情報を収集し、いざという時に行動できるようにしておいてください。

新型コロナウイルス感染症対策について(お礼)

梅雨の湿気と猛烈な暑さ、そのうえコロナ対策のマスクや換気も加わり、今年の夏は例年以上に暑さが身にしみますが、保護者の皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、先日のコロナ対策について、寄宿舎生の安心・安全な生活環境を維持するため、リスクレベル5の期間において前向きに御検討・御協力いただきましたことに心よりお礼申し上げます。

長い夏休みに入りますが、引き続き感染症対策を徹底し、寄宿舎生全員が元気に再開できますことを心待ちにしております。

県立盲学校 寄宿舎指導員一同

☆七夕飾り付け☆



6月14日から7月7日まで七夕飾り作り、七夕飾りを実施しました。皆さん色々なお願い事を書いた後、自分の短冊をデコレーションして、作成から飾りつけまで楽しまれていました。デコレーションもシールを貼ったり、職員と一緒に折り紙を折ったりとバリエーション豊かで、作りながら明るい笑顔がたくさん見られました。願い事は、悩みつつ、叶うといいなと願いつつ、自分の想いを書かれています。中にはコロナが落ち着きますようになど、コロナ関係もありました。七夕のいわれを聞き、飾りつけ、短冊を書き、季節行事に触れる事が出来ました。

早く落ち着いて、普通の生活が送れることを皆さんが願われています。



合同避難訓練(地震)



6月30日(水)に地震避難訓練を行いました。想定は緊急地震速報を伴う強い揺れとしました。

舎生の皆さんは、

- ①揺れの最中は身を守る。
- ②揺れがおさまったら放送や指示を聞く。
- ③指示に従い、慌てず避難する。

以上の3つのポイントを守り、避難することができました。



9月の行事



- 1日(水) 誕生者紹介 夕食時
13日(月) 十五夜の飾りつけ(～21日)